

令和4年度

幼稚園だより 5月号



文京区立千駄木幼稚園

あいさつを大切にしましょう

園長 多比良 由恵

園庭のイチヨウの木々は、たくさんの葉が毎日大きくなっています。年長組が育てていたスナップエンドウもたくさん実りました。季節は、春から初夏になってきました。

新年度が始まり、進級、入園から1ヵ月が過ぎました。毎朝、門で「おはようございます」のあいさつをしていると、日に日に子どもたちの表情が和らぎ、リラックスしてきていると感じます。でも、まだまだ緊張していたり、お家の方と離れられなかったりすることがあるのは当然の姿です。幼稚園では、教職員が、お子さん一人一人の『その子らしい自分の出し方』をしっかりと受け入れ、安心して遊び出せるように関わっていきます。幼稚園で過ごす時間を、子どもたちは、思い切り体を動かして遊ぶことを楽しんだり、少し緊張感をもちながら過ごしたりしていることと思います。ゴールデンウィークもあり、まだまだ、新しい環境に慣れていく時期です。ご家庭でのんびり絵本を読んでもらったり、お家の方にたくさんお話を聞いてもらったりできるといいですね。

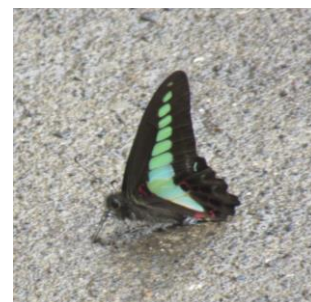
朝、立ち止まって、目と目を合わせてあいさつできると、心と心が通じたような気持ちがして、とても嬉しくなります。「今日は元気いっぱいだな」「何か心配なことがあるのかな」など、気が付くこともたくさんあります。朝のあいさつからその日の調子が分かります。ご家庭でも、幼稚園でも「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」などのあいさつを大切に過ごしていきたいですね。



〈 園庭のイチヨウ 〉



〈 年長組がグループの仲間と
作ったこいのぼり 〉



〈 アオスジアゲハが
水を飲んでいました 〉